



## 北九州市とスポーツ交流を行っている国々



本市は、タイ王国・コロンビア共和国・英国・ドイツ連邦共和国の4カ国と、東京2020オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ実施の準備を進めてきました。これまでに選手団が来日した際は、公開練習や学校訪問など、市民との交流も行ってきました。残念ながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響で事前キャンプが中止となった国や競技もありますが、交流は今後も続けていきます。今大会では、日本選手だけではなく、本市とゆかりの深い国々の選手たちの活躍にも期待しましょう！



### タイ王国 テコンドー、卓球



タイ王国とはスポーツ交流に関する協定を結んでいます。北九州マラソンへのタイ代表選手の招待や2019年のテコンドー代表の事前キャンプなど、さまざまな交流を行っています。



●主な戦績  
2019年  
世界テコンドー  
選手権大会で  
金メダルを獲得

▲パニパク・ウォンパタナッキ選手  
(女子テコンドー代表)

**テコンドーの見どころ** 魅力はなんといっても華麗でダイナミックな蹴り技の応酬。素人目には何が起こったか分からないようなスピードで、さまざまな角度・方向からの蹴り技が次々と繰り出されます。



### コロンビア共和国 テコンドー ほか



コロンビア共和国とは、複数種目の事前キャンプ実施について合意しました。2019年には、トランポリン代表が事前キャンプを行い、公開練習や学校訪問などを行いました。また、駐日コロンビア大使館による市内小学校へのオンライン授業や、生徒による研究発表などの交流も行っています。



▲コロンビアオリンピック委員会と事前キャンプ実施についての覚書締結式



### 英国 車いすラグビー



英国車いすラグビー代表チームは、2019年に事前キャンプを行い、学校での競技体験や給食交流、ビデオレターの交換などを行っています。前回のリオ五輪は5位で、今大会でのメダル獲得が期待されています。



▲西小倉小学校での競技体験

**車いすラグビーの見どころ** 初めて観戦する人がまず驚くのは、会場に鳴り響く激突音。車いす同士をぶつけるタックルが認められているため、タイヤのパンクも珍しくなく、1分以内にタイヤ交換するメカニックなどのスタッフも重要な存在です。



### ドイツ連邦共和国 車いすバスケットボール



ドイツの車いすバスケットボール代表チームとは、本市で毎年開催されている車いすバスケットボールの国際大会「北九州チャンピオンズカップ」への参加などを通じて、交流を深めています。ドイツの男女代表チームは、パラリンピック直前に、キャンプを行う予定です。



▲女子チームは、前回の2016リオ大会で銀メダルを獲得。今大会でも活躍が期待されます

**車いすバスケットボールの見どころ** わずかなスペースを巧みな車いす操作でくぐりぬけていく様子、接触や転倒の迫力、片輪を浮かす華麗な技などが魅力です。

## パリへはばたけ！未来のトップアスリートたち

本市では各種競技会で優秀な成績をあげた個人や団体を対象に、「北九州市民スポーツ賞」や「北九州市民スポーツ奨励賞」を贈っています。その中には、2024年パリオリンピック競技大会への出場が期待される選手もいます。未来のトップアスリートたちの活躍も応援しましょう。



### ウェイトリフティング 西田 裕選手

九州国際大学4年生

●戦績など 2019年全日本学生ウェイトリフティング個人選手権大会 89kg級優勝。2020年全日本ウェイトリフティング選手権大会 96kg級優勝。令和3年北九州市民スポーツ賞受賞

#### 西田 裕選手からメッセージ

高校卒業まで長崎で過ごし、大学進学を機に北九州へ。そんな私にとって、北九州は競技者として大きく成長させてくれた第2の地元。この地でさらに力をつけ、パリ大会でメダルを獲得することが、北九州の皆さんへの恩返しになると考えています。



### 陸上(中距離) 下森 美咲選手

北九州市立高校1年生

●戦績など 2020年JOCジュニアオリンピックカップ全国中学生陸上競技大会 800m優勝。令和3年北九州市民スポーツ奨励賞受賞

#### 下森 美咲選手からメッセージ

私はマラソン選手だった父に憧れて陸上を始めました。夢はやっぱり、オリンピック出場です。今は中距離を走っていますが、徐々に距離を伸ばして、マラソンで出たいと思っています。この夏のインターハイでは、先輩方の胸を借りて少しでも上のラウンドに進めるように頑張ります！

## 北九州ゆかりのメダリスト

オリンピック・パラリンピックへの出場経験を生かし、今は北九州市スポーツ大使をはじめ、地域スポーツを支える側として活躍されているアスリートを紹介します。



君原健二さん  
(マラソン)

八幡製鉄(現・日本製鉄)所属時に、1964年東京大会で8位、続く1968年メキシコ大会で銀メダルを獲得し、日本全国を熱狂させました。引退後は北九州市立大学などで教壇に立ちながら地域スポーツの振興に貢献されています。



竹下佳江さん  
(バレーボール)

門司区出身。2004年アテネ大会、2008年北京大会、2012年ロンドン大会に連続出場。ロンドン大会で銅メダルに輝きました。引退後は女子バレーボールチーム「ヴィクトリーナ姫路」の監督を経て、現在は球団副社長として、次世代育成に取り組まれています。

この特集に関するお問い合わせ 市民文化スポーツ局 国際スポーツ大会推進室 ☎ 582・2411